

行政 トピックス

負担分け合いリフレッシュ 講演とコンサートで心和む

— 家族介護者教室・交流事業 —

9月26日、介護に携わる人にもそうでない人にも、介護についての知識を広げてもらうことを目的に家族介護者教室の一環として、アナウンサー小林完吾氏による講演会「私の介護録〜悔いなき看取りを〜」を南丹市国際交流会館で



▲巧みな話術で講演される小林氏



▲箏琴ライアをしなやかに奏でる木村さん

開催。小林氏は、祖母や実母の介護経験を踏まえ、「しっかり見てやればよかった、という後悔は一生残る。介護は家族全体のものとして受け止めてほしい。直接的な世話でなくても、家事の手助け一つでも介護人の負担は減る」と講演。また、自身が脳出血で闘病した話では、「格好を明るくすると心も明るく元気になる。もし病に倒れても負けていてはだめ。自分の意志で回復する努力をしてください」と、説得力のある話し方で聴衆を引き付けました。

また、10月3日開催の家族介護者交流事業では、市内の在宅介護者が食事をしながら交流。その後、「木村弓さんふれあいコンサート」で、ライアという箏琴やピアノの弾き語りがあり、透き通った歌声と優しい調べに心穏やかな午後のひとときを過ごしました。

健全な市財政運営を目指し 長期保有地を効率的に処分

— 第1回南丹市公有財産等の
処分等に関する検討委員会 —

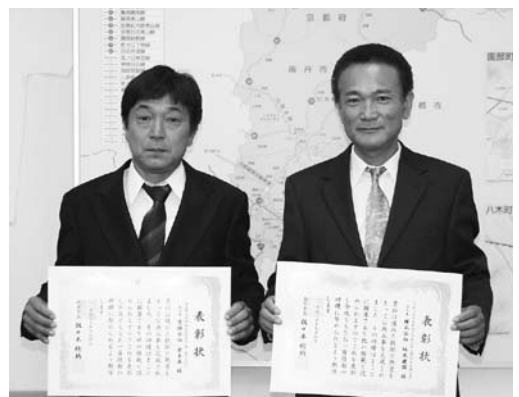
市が事業を実施するために、南丹・京丹波地区土地開発公社が先行取得した長期保有地などについて、他用途への活用や処分方法などを検討する委員会が、8月28日に市役所で行われました。

第1回目の開催となったこの日、佐々木市長から10人の委員に委嘱状を交付。公認会計士の四方浩人さんが委員長に選出されました。

効率的な市の財政運営に向け、現地視察や審議を経て、処分方法及び価格の評価検討が行われます。



▲公有財産などの現状や課題が話し合われました



▲(株)坂本建設の坂本専務取締役(右)と(有)栄土木の前田代表取締役(左)

地元との調整、安全確保 模範となる工事業者を表彰

— 南丹市優良建設工事表彰 —

市が発注した建設工事ですべて昨年度にしゅん工した工事59件のうち、工事成績評定点が表彰基準を満たし、他の模範となる優れた工事を施工した市内の2業者に対し、9月4日、市長から表彰を授与しました。

市になって初めての表彰は、平成19年度殿田小学校改築工事(校舎外溝工事)を請け負った(株)坂本建設と、市道野条諸畑線道路改良工事(第1工区)を請け負った(有)栄土木で、どちらも優れた技術と熱意が評価されました。